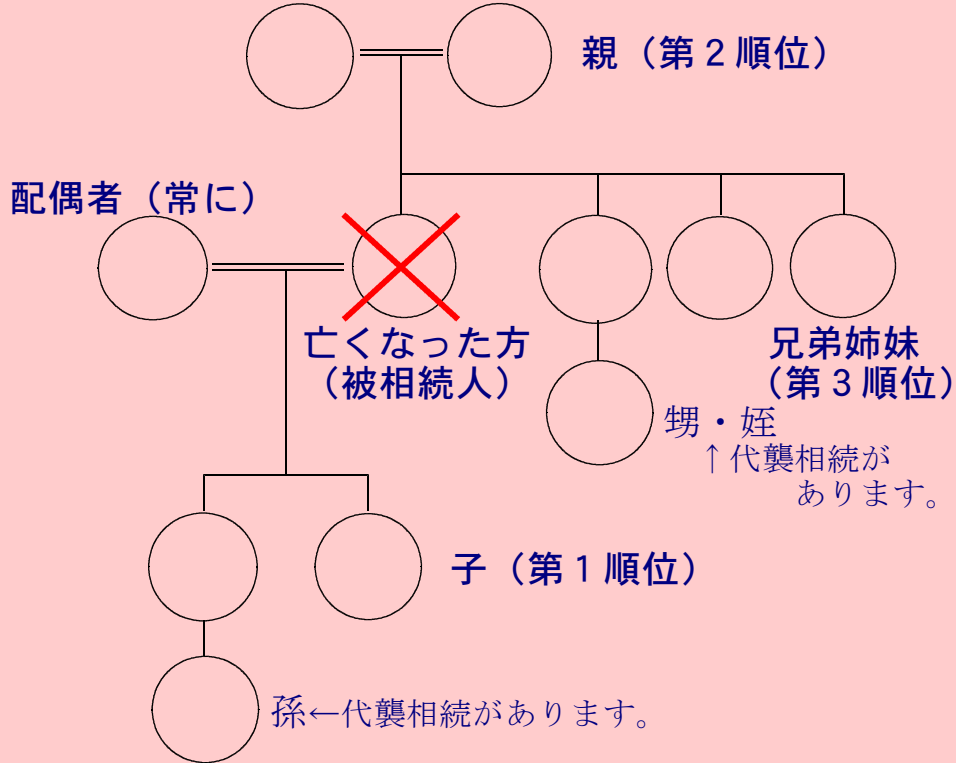


岩手弁護士会NEWS vol.3

相続問題 Q & A

→ご家族が亡くなると、自動的に相続が開始します。相続問題について、よくあるご相談をまとめました。

Q1 誰が相続するの？



亡くなった方を「被相続人」、相続する方を「相続人」と言います。配偶者（夫・妻）がいれば必ず相続人になります。子がいれば子が、子がなければ親が、親もいなければ兄弟姉妹が相続人になります。子同士、親同士、兄弟姉妹同士は同順位となります。相続発生前に、子が亡くなっても、子に子（孫）がいれば、孫が子に代わって相続します（代襲相続）。子が亡くなっている、孫やひ孫・・・（どこまでも繰り返り下がります）がない場合に、親が相続人になります。兄弟姉妹の中で、被相続人より先に亡くなっている方がいて、その方に子がいれば、その子も代襲相続をしますが、兄弟姉妹の場合は、代襲するのは子（甥・姪）までです。

Q2 どんな割合で相続するの？

配偶者はいるが、子どもも親も兄弟姉妹もない→配偶者が全部
 配偶者と子 → 配偶者が1/2・子どもが1/2
 （子が2人なら、1/4ずつ）
 配偶者と親 → 配偶者が2/3、親が1/3
 （両親ともいれば、1/6ずつ）
 配偶者と兄弟姉妹 → 配偶者が3/4、兄弟姉妹が1/4
 （兄弟が3人いれば、1/12ずつ）

Q3 借金が残っているけど、それも相続するの？

相続では、現金、預貯金や土地などの財産・権利も、借金などの負債・義務も、どちらも相続することになります。

Q4 必ず、相続はしなければいけないの？

相続人は、相続について、次の三つから選ぶことができます。
 1 単純承認 相続人が、被相続人の権利や義務をすべて受け継ぐ
 2 相続放棄 相続人が、被相続人の権利も義務も一切受け継がない
 3 限定承認 相続人が、相続によって得た財産・権利の限度で被相続人の負債・義務を受け継ぐ

Q5 いつまでに、三つから選べばいいの？

相続人は、自分のために相続の開始があったことを知ったとき（Q8参照）から、**3ヶ月の熟慮期間内**に、単純承認、限定承認又は相続放棄をしなければなりません。

Q6 3ヶ月以内に何もしないとどうなるの？

3ヶ月以内に、相続放棄も、限定承認もしない場合、原則として単純承認したものとされますが、3ヶ月を過ぎてもあきらめずに弁護士会等にご相談ください。

Q7 気をつけることがありますか？

財産の一部を使ったり、相続の対象となる負債を支払うと、単純承認をしたことになる可能性があります。放棄や承認を決める前に、相続財産を使用したり、債務を支払ったりしないように気をつけてください。例外がありますので、弁護士会にご相談ください。

Q8 「自分のために相続の開始があったことを知ったとき」とはいつのこと？

原則として、被相続人が死亡したことを知り、自分が相続人であることを知ったときです。しかし、財産や負債は何もないと思っていたのに、後に負債があることを知ったときは、そのときに相続の開始があったことを知ったときとされる可能性があります。弁護士会等にご相談ください。

Q9 3ヶ月以内に決められないときはどうしたらいいの？

今回の震災では、ご家族が亡くなったことは分かっても、財産のすべてを把握することができなかつたり、ある程度把握はできていても、相続するのか、放棄するのかを決められないということが十分に考えられます。その場合、**3ヶ月の熟慮期間を伸ばす**ことができます。

Q10 3ヶ月の熟慮期間を伸ばすにはどうしたらいいの？ 相続が開始したことを知ったときから3ヶ月以内に、裁判所に対して、熟慮期間の伸長の申立をしなければなりません。

Q11 期間伸長の申立には、いくらかかるの？どんな書類が必要なの？

800円分の収入印紙、配偶者、子どもは80円切手2枚、親、兄弟姉妹は80円切手6枚がかかります。被相続人の住民票除票又は戸籍附票、除籍謄本、改正原戸籍謄本、申立をする相続人の戸籍謄本が必要です。申し立てる方によって、ほかに書類が必要になる場合があります。書類が集まらない場合、とりあえず申立をして、後で書類を出すということもできます。裁判所にご相談ください。

Q12 熟慮期間の延長、相続放棄、限定承認は、どこに申立をすればいいの？

被相続人の最後の住所地を管轄する家庭裁判所です（郵送も可）。
 洋野・久慈・野田・普代の方 → 盛岡家庭裁判所久慈出張所 0194-53-4158
 田野畑・岩泉・宮古・山田の方 → 盛岡家庭裁判所宮古支部 0193-62-2925
 大槌・釜石・遠野の方 → 盛岡家庭裁判所遠野支部 0198-62-2840
 大船渡・陸前高田・住田の方 → 盛岡家庭裁判所大船渡出張所 0192-26-3630
 八幡平・岩手郡・紫波郡・盛岡の方 → 盛岡家庭裁判所 019-622-3165
 花巻・北上・西和賀の方 → 盛岡家庭裁判所花巻支部 0198-23-5276
 二戸・一戸・軽米・九戸の方 → 盛岡家庭裁判所二戸支部 0195-23-2591
 一関・平泉・藤沢の方 → 盛岡家庭裁判所一関支部 0191-23-4148
 奥州・金ヶ崎の方 → 盛岡家庭裁判所水沢支部 0197-24-7181

Q13 どのくらいの期間伸ばせるの？

どのくらいの期間伸ばすかは、裁判所が裁量で決めます。これまでは3ヶ月ほどの延長が認められることが多かったですが、今回の震災では、考えなければいけないことが多いため、半年、1年、それ以上の期間伸長が必要だと思われます。そのように申し立ててみてください。

Q14 期間伸長後、注意することは何ですか？

期間の伸長が認められた場合には、その期間内に、放棄、単純承認、限定承認を決めなければなりません。その期間内に決められないときは、再度、期間を伸長する申立をしてください。忘れると、放棄が認められなくなってしまいます。

岩手弁護士会作成

（平成23年5月23日）

○相続、公的支援、契約、労働関係、その他、お悩み、困り事、岩手弁護士会被災者ホットダイヤルにご相談下さい。

月～土の午後1時～午後4時

0120-755-745

面談による相談をご希望の方は019-623-5005でご予約を。避難所等での法律相談も行っておりますので、是非ご利用下さい。